

# 本は君が好き!

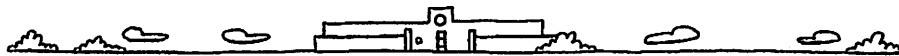
令和3年5月14日  
校長 佐藤一男  
学校司書 本間純子

## 読書のカ~行き場のないエネルギーを読書へ!



新型コロナウイルス緊急事態宣言は、またも延長となりました。部活動の制限、修学旅行の延期、様々な学校行事への影響も大きい中、みなさんの明るい笑顔を見るたび、学校はステキなところだと思います。でもこの戦いはまだまだ終わりそうにありません。行きたいところにも、会いたい人にも、自由に行ったり会ったりできずにいる時間が長引くにつれ、気づかないうちに心が疲れていることもあるかもしれません。そうした状況下の今、この時間を無為に過ごしてしまっても取り戻すことはできません。13歳の5月、14歳の5月、15歳の5月は、それぞれ誰にとっても一生に一度きりのものです。「コロナ禍の頃、自分は何してただろう?」と後々振り返った時、「そういえば、あんな本読んでいたな」と思い返せる1冊に出会ってほしいです。このような非常事態に直面して痛感したのは、家にいながらでも世界や人生について思いを巡らすことができる読書は、こんな時こそ力を発揮するということです。

同志社大学客員教授で作家の佐藤優さんは、鈴木宗男事件に絡む背任容疑で512日間拘留された時、状況に順応できた理由として読書をあげています。朝井リョウさんの『チア男子!!』を読んで本当に早稲田のチア男子になった人を知っています。人生を揺さぶる力を本は持っています。



## 学校図書館 4月の利用状況

	1学年	2学年	3学年	6組
総貸出冊数	239	292	206	45
1人あたりの総貸出冊数	2.8	2.8	2.0	1.7

\*小数点第2位以下切り捨て





## 今月の1冊

### 『希望の図書館』

リサ・クライン・ランサム 作 松浦直美 訳 ポプラ社



新しく越してきたシカゴの町で、大きな図書館をみつけたラングストン。そこで、自分と同じ名前の詩人が書いた本と出会い…。読書の喜びを通じて、小さな自信と生きる勇気を手に入れていく少年の物語。スコット・オデル賞



## ただ今展示中！～「図書館」を読む～

『図書館巡礼「限りなき知の館」への招待』 スチュアート・ケルズ 著 小松佳代子 訳

古代エジプトのアレクサンドリア図書館から現代のフォルジャー・シェイクスピア図書館まで。古今の偉大な図書館の魅力を語り、文献の保守・保存・獲得に心血を注いだ「愛書家」たちのエピソードを活写する。

『世界の不思議な図書館』 アレックス・ジョンソン 著 北川玲 訳

ラクダ、ポート、電話ボックス、駅、ホテル、個人宅、庭、公園、海辺…。本さえあれば、そこは図書館になる！バラエティあふれる世界の個性派ライブラリーを写真で紹介する。

『戦地の図書館 海を越えた一億四千万冊』 モリー・グプティル・マニング 著 松尾恭子 訳

戦場の兵士に本を送れ-。第二次世界大戦中、図書館員・米軍・出版業界が展開した史上最大の図書作戦。全米で行われた本の寄付運動、兵士用に独自に開発されたペーパーバック<兵隊文庫>などについて余すところなく描く。

『としょかんライオン』 ミシェル・ヌードセン 作 ケビン・ホークス 絵 福本友美子 訳

ある日、まちの図書館にライオンが入ってきました。人々は大あわて。でもメリウエザー館長は、静かにお行儀よくできるのなら来ていいですよ、と言いました。やがてライオンは、みんなと仲良しに。ところがある日…。書店員が選ぶ絵本大賞（第2回）



本を読むには図書館の方がいい。  
お気に入りの窓際のテーブルで本を読み、  
ほかの人たちがページをめくる音をきいていると、  
ぼくは  
言葉を交わさなくてもわかりあえる  
大勢の仲間たちと  
大きな館にいるような気分になる。



『希望の図書館』

リサ・クライン・ランサム 作  
松浦直美 訳